

俺は女中を呼び付けてドナツた。

『俺は刑事と鯨の聲を聞いては眠れねえのだ。

けんども宿錢を戻せ、俺は汽車に乗るから』

『そんな事おへん』と云ふのは京都言葉だつた。

あくる日宮島で途中下車して、蓆入や杓子や揚子入や、鹿の角の箸など買つて、バスケットに詰め込んだ。

廿日市でも途中下車した。

驛の前の宿屋の布團の中で、下關で買つた海丹を一瓶舐めたりなすくつたりした。

廣島では、

『好いものを上げます』と言つて、此の前の二人の巡査がニコ／＼やつて来て、俺を警察へ案内した。

そして形見のインバネスの袖をくれた。

擦り硝子の窓へ突き刺しといった矢立は何うなつた事か。